

公開講演会

「『地域に立つ教会』とは？ —災害支援の現場から考える」 (仮題)

講師：牧 由希子さん

(特定非営利活動法人 CWS Japan ディレクター)



CWSはChurch World Serviceの略称です。敗戦後の日本に圧倒的に不足していた食料や医療、医薬品など「ララ物資」を配給して活動したことで知られています。その日本事務所であるCWS Japanは東日本大震災の際、日本での緊急・復興支援活動を行うために再び開設されました。現在は、災害弱者に陥りやすい在日外国人の支援を平時から行いながら、各地の災害支援、防災ネットワークづくりなどに取り組んでいます。

牧 由希子さんご紹介：難民キャンプにおける緊急人道支援、環境教育や住民参加型地域づくりなど多様なプロジェクト現場に携わったのち、2014年にCWS Japan入職。多文化・多世代交流を目指したコミュニティカフェの運営や、外国籍住民など災害弱者にフォーカスした防災活動やネットワーク作りに取り組んでおられます。女子聖学院でキリスト教と出会い、高校生の時、クリスチャンになった牧さんは、こうした人道支援活動の中から教会が果たせる役割、教会が地域にある意義などを考えさせられてきたとのこと。牧さんの豊かなご経験に基づいた問いかけ、想いをお聞きし、対話の時を過ごしたいと思います。

日時： 2025年3月18日(火)

午前10:00~11:45 (受付9時30分開始)

場所：日本キリスト教会館4階B会議室 (対面で開催)

参加費：一般 ¥500 (学生は無料)

この講演会は、「神学校新卒者エキュメニズム研修会」の一部を公開して行います。神学校新卒者の方は講演後のプログラム(昼食を含んで午後3時頃)があります。NCC加盟教派以外の神学校の方、日本基督教団教師検定試験受験生(Cコース受験者を含む)の方も参加できます。詳細はNCC教育部ホームページ参照。準備の都合上、2月25日(火)までに参加申し込みが必要です。ご参加をお待ちしています。

主催・問い合わせ先 NCC教育部 ☎&FAX 03-3203-0731 新宿区西早稲田 2-3-18-21

E-mail nccjedu@gmail.com

協賛：日本聖書協会、日本キリスト教団出版局 後援：日本キリスト教協議会(NCC)